

サステナビリティレポート2007の発行にあたって

本サステナビリティレポートは、三菱商事の社会・環境活動に関する主要な取り組みを、毎年、ご紹介しているものです。

当社はCSR活動を、あらゆるステークホルダーの視点を考慮しつつ自主的に行い、且つ法的な要請や義務を上回るものとして位置づけ、行動しています。

三菱商事の活動領域は非常に幅広く、多様なステークホルダーが存在します。そうした皆様に当社がどのような企業活動を行っているかを明確に伝えたいと考えています。

今年度は、当社の事業の中でCSRの視点から重要と思われる側面につき、具体的な取り組みを特集記事で紹介しています。また、今回もさまざまなステークホルダーの声を頂戴しました。

このレポートが皆様の三菱商事に対する理解を深めて頂く一助となれば幸いです。是非とも、今後の改善に向けた忌憚の無いご意見をお待ちしております。



副社長執行役員(社会・環境委員長) 上野 征夫

CSRの取り組みの全体像

I 事業投資先・商品のサプライチェーンの実態把握 (社会・環境室が主体で実施)

- ① 事業投資先へのアンケート調査
- ② 商品サプライチェーン実態把握調査

II 社内外とのコミュニケーション (社会・環境室が主体で実施)

- ① 社員啓発 (講演会、研修等)
- ② 情報開示 (レポート、Web等)

CSR重点施策

III 環境や社会への影響の自己評価と対策立案を行うシステム (各主管部署が主体で実施)

- ① 投融资時のCSR観点での審査 (起案部署が案件申立書に、想定される環境・社会影響、対策を記載)
- ② 環境影響評価 (事業投資先、商品)、環境レビュー (事業投資先、取引先)